



平成の「虎造」が誕生

浪曲虎造節保存会の
八木 健さんから

不世出の浪曲師・第二代の虎造は、昭和 39 年に病没。以来 50 年、その名調子をラジオで聴くことはなかった。3 年前に虎造節保存会ができて「第二代・廣澤虎造の顕彰」と「虎造節を伝承する」活動を展開している。2 年前から、浅草の木馬亭で「虎造節日本一」を決める全国大会を開催。日本一になった者は「廣澤」を名乗ることが、このほど虎造の遺族によって許された。初代「平成の虎造」こと廣澤春雄と第二代「平成の虎造」こと廣澤明仁が世に出る。

末永く「虎造節を伝承」するためには「廣澤」の名を受け継いでゆくことは欠かせない、虎造の二男、山田二郎氏に「日本一のタイトルを手にした者には廣澤の名を襲名させて欲しい」と申し入れ了解が得られた。去る 8 月 23 日に東京飯田橋のホテルで開催された理事会で話し合われた。出席者は、虎造節保存会会長の二宮真之、副会長の飯塚治雄、虎造二男で保存会名誉会長の山田二郎、保存会創立名誉会長の八木健の 4 氏である。

虎造節日本一を決める第三回大会は平成 25 年(2013 年)3 月 20 日(春分の日)に東京・浅草の木馬亭で開催される予定。